

# 平成17年 福岡市の人口

～ 住民基本台帳による人口 ～

平成17年9月末現在の住民基本台帳による人口及び平成17年の人口動態を紹介します。

## 1. 「人口」とは

福岡市が発表している福岡市の「人口」は2種類あります。

一つは「住民基本台帳に基づく人口」で、福岡市に住民登録をしている人を集計したもので、この中には外国人が含まれません。

もう一つは毎月1日現在で公表している「推計人口」で、これは5年に一度行われる国勢調査の人口に、毎月の住民登録や外国人登録の増減(出生,死亡,転入,転出など)を加えることにより推計している値で、こちらは外国人や本市に住民登録のない人を含んだ値となります。

この「ふくおかの統計」に紹介している統計表も両者を区別していますので、数値をご利用になる場合はご注意ください。この特集では「住民基本台帳に基づく人口」について紹介します。

## 2. 概況

人口は前年比10,247人、0.8%の増加

平成17年9月末現在の住民基本台帳による本市の人口は1,347,823人で、前年同時期比10,247人(0.8%)の増加、世帯数は618,034世帯で同じく9,524世帯(1.6%)の増加となりました。(表1, 図1)

男女別の人口では、男性が642,842人(構成比47.7%)で前年比3,674人の増加、

図1 住民基本台帳に基づく人口及び1世帯当たり人員の推移

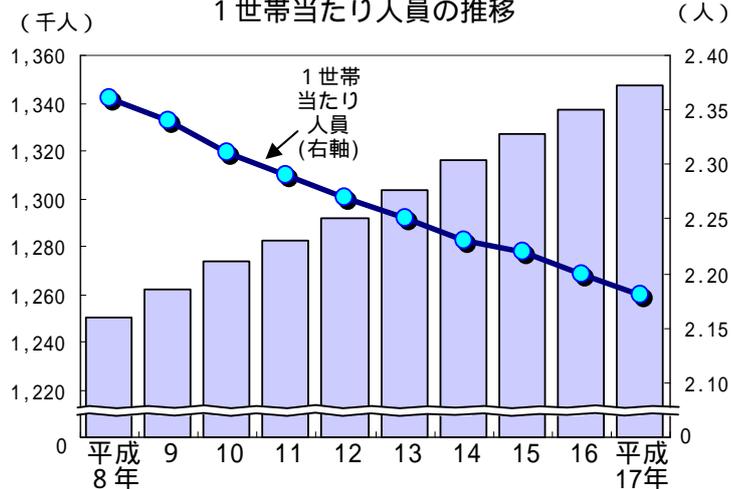


表1 住民基本台帳に基づく世帯数, 人口及び1世帯当たり人員の推移

各年9月末現在

	世帯数		人口				1世帯当たり人員
	前年比増減		前年比増減	男	女		
	世帯	%	人	%	人	人	人
平成7年	517 933	1.5	1 238 762	0.5	598 366	640 396	2.39
8年	528 814	2.1	1 249 844	0.9	603 576	646 268	2.36
9年	540 292	2.2	1 262 159	1.0	608 619	653 540	2.34
10年	551 077	2.0	1 273 833	0.9	613 488	660 345	2.31
11年	560 143	1.6	1 282 580	0.7	616 690	665 890	2.29
12年	569 340	1.6	1 291 542	0.7	619 940	671 602	2.27
13年	579 166	1.7	1 303 253	0.9	624 601	678 652	2.25
14年	589 349	1.8	1 316 222	1.0	630 069	686 153	2.23
15年	598 954	1.6	1 327 099	0.8	634 863	692 236	2.22
16年	608 510	1.6	1 337 576	0.8	639 168	698 408	2.20
平成17年	618 034	1.6	1 347 823	0.8	642 842	704 981	2.18

女性は704,981人（構成比52.3%）で前年比6,573人の増加となっています。

また、ここ10年間の変化を見ると、人口は109,061人増加（増加率8.8%）し、世帯数は100,101世帯増加（同19.3%）しています。世帯数の伸びに対して人口の伸びが小さい傾向が続いており、1世帯あたりの人員は年々減少を続け、平成17年は2.18人となりました。ここ10年間では0.21人減少しています。

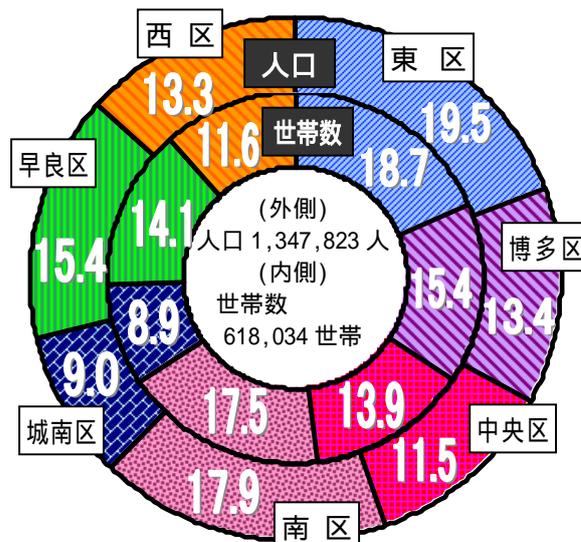
### 3. 行政区別人口

行政区別に人口及び世帯数を見ると、最も人口及び世帯数の多い区は東区で、人口は市の19.5%、世帯数は18.7%を占めています。以下、人口、世帯数ともに南区、早良区と続きます。（表2、図2）

女性を100とした場合の男性の割合を示す性比を見ると、福岡市全体では91.2ですが、中央区は79.9と他の行政区に比べ、女性の割合が高くなっています。

1世帯あたりの人員を見ると、西区が最も多く2.50人、以下、早良区、東区と続きます。都心部に位置する中央区及び博多区では、2を下回る値となっています（中央区1.81、博多区1.90）。

図2 人口及び世帯数の各行政区構成比



円グラフ内の数値は構成比で単位は%  
平成17年9月末現在

人口及び世帯数の増減について平成16年と比較すると、人口で最も大きな伸びを示したのは博多区で1.2%の増加、以下中央区、城南区と続きます。

世帯数でも博多区が最も大きな伸びとなり（2.1%増加）、以下、中央区、西区と続きます。昨年は人口が減少していた南区も増加となり、すべての行政区で、昨年と比較して人口、世帯数ともに増加となりました。

表2 各行政区別人口及び世帯数

	各年9月末現在											
	平成16年		平成17年						平成16年～17年の増減			
	世帯数	人口	世帯数	人口	男	女	性比	1世帯あたり人員	世帯数	前年比 (%)	人口	前年比 (%)
全市	608,510	1,337,576	618,034	1,347,823	642,842	704,981	91.2	2.18	9,524	1.6	10,247	0.8
東区	114,044	260,871	115,516	262,630	128,438	134,192	95.7	2.27	1,472	1.3	1,759	0.7
博多区	93,088	178,516	95,066	180,681	88,254	92,427	95.5	1.90	1,978	2.1	2,165	1.2
中央区	83,894	153,610	85,659	155,360	68,980	86,380	79.9	1.81	1,765	2.1	1,750	1.1
南区	107,303	241,714	108,232	241,818	114,641	127,177	90.1	2.23	929	0.9	1,040	0.0
城南区	54,151	119,516	54,992	120,843	57,989	62,854	92.3	2.20	841	1.6	1,327	1.1
早良区	85,710	205,757	86,893	207,195	98,827	108,368	91.2	2.38	1,183	1.4	1,438	0.7
西区	70,320	177,592	71,676	179,296	85,713	93,583	91.6	2.50	1,356	1.9	1,704	1.0

#### 4. 年齢別人口

年齢構成を見ると、福岡市全体では15歳未満の「年少人口」は14.1%となりました。昨年も14.1%でしたが、依然として減少傾向は続いています。

また、15～64歳の「生産年齢人口」は70.5%で、これも昨年の70.9%から減少しています。

一方、65歳以上の「老年人口」は昨年の15.0%から15.4%と増加しました。(表3)

各行政区に見ると、昨年までは年少人口が老年人口を上回っていた西区も構成比が逆転し、早良区を除く6行政区において老年人口が年少人口を上回ることとなりました。

また、生産年齢人口の割合は、中央区、博多区で高くなっています。

#### 5. 世帯員数別世帯数

世帯構成員数別の世帯数を見ると、2人以下の世帯の占める割合が65.3%となりました。そのうち、1人世帯が42.9%となり、福岡市ではほぼ3分の2の世帯が1人または2人世帯ということになります。(表4、図3)

各行政区別に見ると、中央区及び博多区で1人世帯の占める割合が半数以上(中央区57.3%、博多区54.3%)となっています。また、中央区においては2人以下の世帯が76.9%と、4分の3以上を占めています。

一方、西区では1人世帯の割合が7行政区中最も小さく(30.6%)、3人以上の世帯の割合が最も大きく(44.2%)となっています。

図3 各行政区別世帯員数別世帯の割合

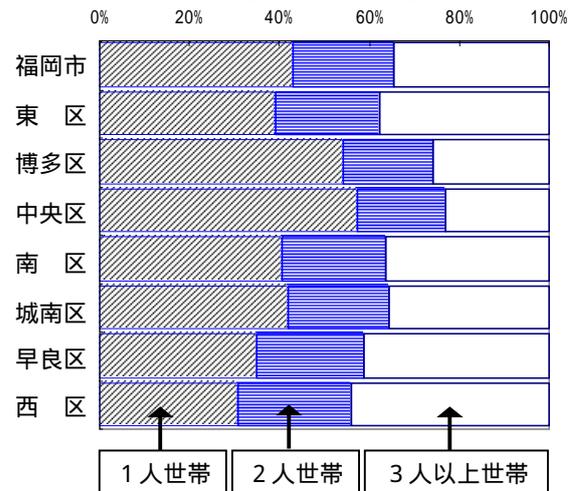


表3 各行政区別年齢別人口(3区分)

平成17年9月末現在

	全市	東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区
総数	1 347 823	262 630	180 681	155 360	241 818	120 843	207 195	179 296
15歳未満	189 398	38 877	22 503	17 349	34 164	16 400	31 595	28 510
15～64歳	950 768	183 074	131 142	115 196	169 588	85 254	144 432	122 082
65歳以上	207 657	40 679	27 036	22 815	38 066	19 189	31 168	28 704
(構成比)								
15歳未満	14.1	14.8	12.5	11.2	14.1	13.6	15.2	15.9
15～64歳	70.5	69.7	72.6	74.1	70.1	70.5	69.7	68.1
65歳以上	15.4	15.5	15.0	14.7	15.7	15.9	15.0	16.0

表4 各行政区別世帯員数別世帯数

平成17年9月末現在

市区	世帯数	世帯人員							構成比		
		1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	2人以下	1人	3人以上
福岡市	618 034	265 061	138 752	96 864	82 379	27 307	5 728	1 943	65.3	42.9	34.7
東区	115 516	45 388	26 704	19 202	16 906	5 747	1 211	358	62.4	39.3	37.6
博多区	95 066	51 621	18 940	11 831	8 926	2 854	649	245	74.2	54.3	25.8
中央区	85 659	49 052	16 784	9 872	7 346	2 085	383	137	76.9	57.3	23.1
南区	108 232	43 740	25 097	17 744	15 263	5 099	996	293	63.6	40.4	36.4
城南区	54 992	23 060	12 390	8 903	7 594	2 494	438	113	64.5	41.9	35.5
早良区	86 893	30 257	20 776	15 691	14 237	4 671	930	331	58.7	34.8	41.3
西区	71 676	21 943	18 061	13 621	12 107	4 357	1 121	466	55.8	30.6	44.2

## 6. 小学校区別人口

続いて各小学校通学区域に基づく校区別人口を見ます。(表5)

校区人口が最も多い校区は、平尾校区です。  
以下、昨年最も多かった内浜、那珂、香住丘

と続き、5番目が姪浜校区となりました。世帯数について見ると、昨年と同じく平尾校区が最も多く、次いで博多、内浜、警固、那珂の各校区が続きます。

### 表5 福岡市小学校区別世帯数及び人口

平成17年9月末現在

区・小学校区	世帯数	人口	区・小学校区	世帯数	人口	区・小学校区	世帯数	人口	区・小学校区	世帯数	人口			
福岡市合計	618 034	1 347 823	板付	6 230	13 717	弥永	3 121	7 229	四箇田	3 420	8 829			
東区	115 516	262 630	那珂	8 746	18 661	東花畑	3 784	9 274	飯原	2 929	7 130			
			那珂南	6 351	12 359	長丘	3 985	10 756	有住	2 470	5 229			
			馬出	4 590	7 776	東光	3 999	7 101	西長住 *	1 760	4 266	田村	3 594	9 157
			菅松	6 131	11 452	東吉塚	4 738	9 337	弥永西	3 434	8 611	飯倉中央	2 214	5 362
			箱崎	6 162	11 127	美野島	5 577	9 599	東若久	3 158	7 404	小田部	3 296	9 209
			香椎	5 057	10 907	板付北	3 118	7 558	鶴田	2 850	7 582	百道浜	2 877	7 556
			多々良	5 860	13 143	東月隈	3 285	8 289	野多目	4 276	11 131	脇山	951	2 679
			名島	5 958	14 123	三筑	5 185	11 128	高木	4 152	8 194	内野	2 449	6 767
			香住丘	7 875	16 734	弥生	1 991	4 844	大池	3 625	8 614	曲淵	69	201
			和白	4 387	10 603	宮竹 *	1 491	3 480	塩原	5 685	10 404	入部	2 625	7 287
			千早	2 244	5 053	中央区	85 659	155 360	柏原	3 284	8 975	早良	1 485	3 986
			城浜	2 570	4 761				大名	2 929	4 378	西区	71 676	179 296
			若宮	4 231	9 940	当仁	7 067	13 251	姪浜	7 405	16 237			
			勝馬	93	304	箕子	4 804	7 480	城南区	54 992	120 843	寺岐	5 420	14 991
			志賀島	698	1 904	警固	8 869	14 742	西長住 *	821	2 102	能古	310	770
			西戸崎	2 142	5 207	春吉	7 671	10 498	長尾	5 916	13 307	内浜	8 917	18 848
			美和台	6 228	15 643	草ヶ江	6 472	12 693	鳥飼 *	3 927	8 853	金武	1 304	3 852
			八田	2 943	7 107	平尾	10 154	18 954	別府	7 024	14 180	下山門	3 560	8 843
			和白東	4 970	12 192	高宮	6 553	10 100	七隈	5 875	12 203	寺岐南	3 768	10 174
			舞松原	3 874	9 948	赤坂	5 639	10 238	堤	4 298	10 621	西陵	2 676	6 026
香椎東	5 107	12 790	南当仁	7 692	14 843	城南	6 345	14 222	寺岐東	2 241	5 364			
青葉	4 412	12 589	笹丘	4 988	10 876	金山	3 761	7 673	石丸	4 451	11 646			
奈多	3 975	9 645	舞鶴	3 568	5 713	片江	5 890	12 214	愛宕	5 089	11 500			
香椎浜	1 900	4 826	小笹	6 176	14 815	南片江	3 496	8 353	福重	3 394	8 184			
香椎下原	6 074	13 071	福浜	2 760	6 099	田島	4 883	11 029	城原	3 043	8 056			
千早西	2 978	6 832	鳥飼 *	317	680	堤丘	2 756	6 086	愛宕浜	2 182	6 369			
東箱崎	2 806	6 282	南区	108 232	241 818	早良区	86 893	207 195	今宿	4 354	11 241			
香陵	1 748	4 974							三宅	7 646	15 711	西新	7 187	15 020
松島	7 051	15 057	花畑	3 798	9 466	原	4 299	10 329	周船寺	4 603	12 414			
三苫	3 452	8 640	玉川	7 350	13 735	高取	7 184	14 735	元岡	2 944	8 346			
博多区	95 066	180 681	西高宮	7 365	15 594	百道	3 140	7 008	北崎	547	1 764			
			博多	9 796	15 953	田隈	3 002	7 113	玄界	215	645			
			住吉	4 403	6 334	日佐	2 606	6 396	室見	4 690	10 381	小呂	63	222
			堅粕	5 582	8 437	宮竹 *	5 993	12 188	原西	4 701	10 992	北崎小西浦分校	335	1 172
			千代	5 645	8 564	大楠	5 837	9 223	原北	2 995	7 410	玄洋	3 419	9 273
			吉塚	4 186	8 053	若久	4 531	10 201	飯倉	4 324	9 989	複数行政区にまたがる小学校区の合算		
			東住吉	4 329	6 301	老司	3 669	8 885	賀茂	4 256	9 892	宮竹【合算】	7 484	15 668
			席田	2 862	6 266	長住	3 538	8 641	有田	4 144	10 506	西長住【合算】	2 581	6 368
			月隈	3 432	7 637	筑紫丘	4 340	9 342	野芥	4 744	11 822	鳥飼【合算】	4 244	9 533
			春住	4 120	7 063	西花畑	4 969	12 384	大原	3 848	8 606			

注) 学校名に「\*」印を付した学校は、校区が複数行政区にまたがっているため、小学校区単位の数値は本表末尾に合算した値を表示している。

この表は、福岡市教育委員会が公表している「市立小中学校の通学区域」に基づいて、住民基本台帳に登録された人の住所地を各小学校区に振り分け、集計したものです。

## 7. 自然動態

### 平成17年の自然増加数は3,780人

平成17年の自然動態は、全市で出生数12,542人、出生率（人口1,000人当たりの出生数）9.31‰（パーミル）、死亡数8,762人、死亡率（同死亡数）6.50‰で、その差の3,780人が自然増加数となり、その自然増加率（同自然増加数）は2.80‰となりました。

平成16年と比較すると、出生数は436人減、死亡数は252人増となり、自然増加数は688人の減少となりました。（表7）

また、平成8年から10年間の動きを見ると、減少傾向にある出生数に対し、死亡数が増加傾向にあるため、自然増加数は減少傾向にあり、さらに人口がこの間に約10万人増加していることから、自然増加率の低下も顕著になってきました。（表6）

自然増加数が4,000人を下回り、また自然増加率が3‰を下回ったのは、両者が増加に転じた昭和22年以降、初めてとなりました。

各行政区別の動きを見ると、平成16年と比較して出生数が増加したのは早良区のみでした。また、自然増加数はすべての行政区で

表6 自然増加数,出生数,死亡数及び自然増加率の推移

	自然増加数	出生数	死亡数	自然増加率
平成8年	6,560	13,431	6,871	5.25
平成9年	5,718	13,056	7,338	4.53
平成10年	5,864	13,454	7,590	4.60
平成11年	4,938	13,000	8,062	3.85
平成12年	5,186	13,158	7,972	4.02
平成13年	5,366	13,243	7,877	4.12
平成14年	4,959	13,135	8,176	3.77
平成15年	4,706	13,024	8,318	3.55
平成16年	4,468	12,978	8,510	3.34
平成17年	3,780	12,542	8,762	2.80

図4 自然増加数,出生数,死亡数及び自然増加率の推移

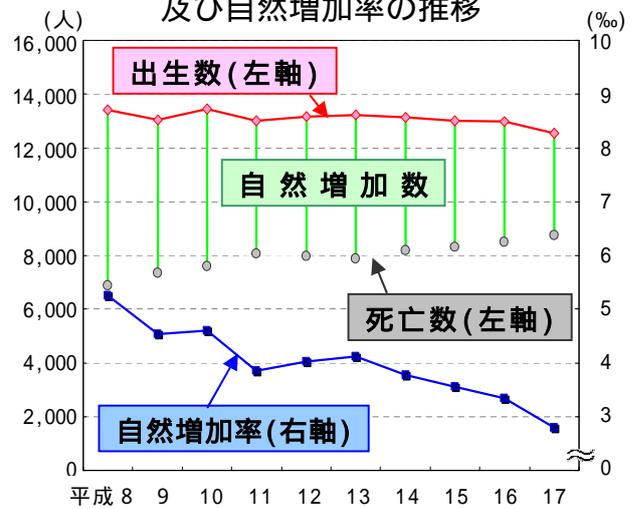


表7 自然動態

	平成16年			平成17年					
	自然増加数	出生数	死亡数	自然増加数	前年比増加率	出生数	前年比増加率	死亡数	前年比増加率
					%		%		%
全市	4,468 (3.34)	12,978 (9.70)	8,510 (6.36)	3,780 (2.80)	15.4	12,542 (9.31)	3.4	8,762 (6.50)	3.0
東区	993 (3.81)	2,647 (10.15)	1,654 (6.34)	745 (2.84)	25.0	2,495 (9.50)	5.7	1,750 (6.66)	5.8
博多区	583 (3.27)	1,839 (10.30)	1,256 (7.04)	507 (2.81)	13.0	1,778 (9.84)	3.3	1,271 (7.03)	1.2
中央区	367 (2.39)	1,323 (8.61)	956 (6.22)	282 (1.82)	23.2	1,226 (7.89)	7.3	944 (6.08)	1.3
南区	723 (2.99)	2,308 (9.55)	1,585 (6.56)	675 (2.79)	6.6	2,221 (9.18)	3.8	1,546 (6.39)	2.5
城南区	290 (2.43)	1,044 (8.74)	754 (6.31)	267 (2.21)	7.9	1,030 (8.52)	1.3	763 (6.31)	1.2
早良区	745 (3.62)	1,906 (9.26)	1,161 (5.64)	743 (3.59)	0.3	2,009 (9.70)	5.4	1,266 (6.11)	9.0
西区	767 (4.32)	1,911 (10.76)	1,144 (6.44)	561 (3.13)	26.9	1,783 (9.94)	6.7	1,222 (6.82)	6.8

注) 下段( )内の数は、当該年9月末現在の人口1,000人あたりの自然増加数,出生数,死亡数(‰)。

昨年を下回り、特に西区、東区及び中央区で前年比増加率が大きな減少となっています。自然増加率では、平成16年には4%を上回っていた西区が3.13%と、1ポイント以上の減少となりました。また、自然増加率の最も小さい中央区は2%を下回りました。

## 8. 社会動態

### 平成17年は6,487人の転入超過

平成17年の社会動態は、全市で転入者数76,455人、転入率(人口1,000人当たりの転入者数)56.72%、転出者数69,968人、転出率(同転出者数)51.91%で、その差の6,487人が社会増加数となり、社会増加率(同社会増加数)は4.81%となりました。(表8)

平成16年と比較すると、転入者数は107人増加、転出者数は1,521人減少し、社会増加数は1,628人の増加となりました。社会増加数は平成8年以降、社会増(転出者数を

転入者数が上回る状態)の状態が続けています。また、平成17年の増加数は昭和56年以降最も多くなりました。

各行政区別に見ると、南区を除く6行政区で増加しています。南区も平成16年と比較して減少幅は小さくなりました。都心部の中央区及び博多区ではともに社会増加数が2,000人を超え、社会増加率も2桁となっています。この両区は転入率、転出率ともに大きな値を示しており、住民の移動が活発であることが分かります。

自然動態と社会動態を比較すると、昨年に続いて社会増加数が自然増加数より多く、その差は391人から2,707人と拡大し、福岡市の人口増加の要因として社会動態による増加の割合が大きくなっています。

\* \* \*

<関連ホームページ> 福岡市 市の統計

<http://www.city.fukuoka.jp/datafile>

表8 社会動態 ( 市外移動 )

	平成16年			平成17年					
	社会増加数	転入者数	転出者数	社会増加数	前年比増加率	転入者数	前年比増加率	転出者数	前年比増加率
					%		%		%
全市	4 859 (3.63)	76 348 (57.08)	71 489 (53.45)	6 487 (4.81)	33.5	76 455 (56.72)	0.1	69 968 (51.91)	2.1
東区	233 (0.89)	13 500 (51.75)	13 733 (52.64)	609 (2.32)	361.4	13 863 (52.79)	2.7	13 254 (50.47)	3.5
博多区	1 577 (8.83)	13 608 (76.23)	12 031 (67.39)	2 023 (11.20)	28.3	14 021 (77.60)	3.0	11 998 (66.40)	0.3
中央区	2 268 (14.76)	12 966 (84.41)	10 698 (69.64)	2 046 (13.17)	9.8	12 776 (82.23)	1.5	10 730 (69.07)	0.3
南区	422 (1.75)	12 145 (50.25)	12 567 (51.99)	145 (0.60)	65.6	11 954 (49.43)	1.6	12 099 (50.03)	3.7
城南区	354 (2.96)	5 897 (49.34)	5 543 (46.38)	630 (5.21)	78.0	6 051 (50.07)	2.6	5 421 (44.86)	2.2
早良区	712 (3.46)	9 993 (48.57)	9 281 (45.11)	950 (4.59)	33.4	9 887 (47.72)	1.1	8 937 (43.13)	3.7
西区	603 (3.40)	8 239 (46.39)	7 636 (43.00)	374 (2.09)	38.0	7 903 (44.08)	4.1	7 529 (41.99)	1.4

注) 下段( )内は、当該年9月末現在の人口1,000人あたりの社会増加数、転入者数、転出者数(‰)。